

2024年BSサミット事業協同組合 全国大会

BSサミットが誇る情報力を羅針盤として前例のない取り組みにチャレンジ



2024年 BSサミット事業協同組合 全国大会

2024年7月8日、9日の2日間、ANAインターコンチネンタルホテル東京にて「2024年BSサミット事業協同組合 全国大会」を開催。今年も全国大会には、政界をはじめ関係省庁からの来賓など多くの皆様にご参集いただき盛大な大会となった。冒頭の挨拶で磯部理事長は、クルマを取り巻く環境が劇的に変化している今、自動車整備業の立ち位置はどう変わっていくかを整理し、我々の進むべき道について示された。

磯部理事長の挨拶(一部抜粋)

自動車の進化と整備事業者への影響

「EVの成長速度が減速し、EVの将来について不透明感が増しているのは事実」と、ゼネラルモーターズのCEOが発言しました。だからと言って「EVは時期尚早だった」と判断するのは早合点でしょう。世界各国がEVに舵を切るきっかけはカーボンニュートラルの達成だったことを忘れてはなりません。全個体電池の量産化が実現すれば、EV販売トレンドが大きく変容していく可能性を秘めており、しばらくの間この動向から目を離すことはできません。

整備士不足の危機的状況に対するガイドライン

厚生労働省によると、令和4年度・自動車整備士の有効求人倍率は5.02倍と日本国内全業種平均の約3.8倍と厳しい数値となっています。更に、整備士不足を外国人労働者で賄う方策も不安をきつかけに流れが急変しています。クルマが変化し、整備も大きく変わろうという重要な局面が訪れている今、その安全・安心の担い手である整備士が不足する危機的な状況にあります。

この難題に対して、行政は事業者向けのガイドラインを公開しました。国土交通省は令和6年3月26日に「自動車整備士等の働きやすい・働きがいのある職場づくりに向けたガイドライン」を、令和6年3月29日には「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」を公開。一方、公正取引委員会は「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」



磯部君男理事長

後、自動車メーカーは「整備用スキャンツール」に対して、極めて慎重な立場となることが予想されます。既に輸入車や新車車の一部で、汎用スキャンツールではアクセスできない領域が増えていることにお気づきの方もいるかと思いますが、これらは、サイバーセキュリティ法規「UN-R155」や国際標準規格「ISO/SAE 21434」の準拠を求める規制による影響であり、日本でも「UN-R155」が道路運送車両法に取り込まれ、2022年7月以降に販売された一部の車両から、法規制が開始されています。今後

を令和5年11月29日に公開しました。整備業界が抱える課題に対し、これらガイドラインが行政から示され、今後BSサミットにおいてもガイドラインに沿った活動を推進していく必要があります。とはいえ、ガイドラインを定着させるためには、人的、時間的、金銭的コストが必要です。一方で、急激なインフレに伴う人件費の

高騰やオペレーションコストの上昇、人材不足の中で、資源を投入する余力が限られています。つまり、公正取引委員会が示す指針に基づき、業界団体として引き続き声を上げ、ステークホルダーの皆さんと共に改善を急がなければ、自動車整備・車体整備は遅かれ早かれ破綻することになるでしょう。

さらに、ホンダ、日産も大型ダイカストマシンを既に試験導入しています。中国EVメーカーもダイカストに積極的で、ジェーリー、シャオベン、シャオミ、ニオといった大手が、既に複数車種に展開しています。

新技術への対応には新しい設備機器や車体整備士の再教育が必要となります。中国の整備工場、ディーラー工場では、入庫する車両に対して4輪アライメントやエアーミングを行える環境を整えている工場が増えています。日本でも今後、車両の進化に合った設備が求められることは間違いありません。高度な車体整備が行える車体整備事業者の作業工賃が通常の工場よりも高くなるのは当然のことです。

これらクルマの変化は、整備事業者に対して、あるいはユーザー、損害保険会社に対して、大きな課題を喚起に突き付けている状況にあります。

高騰やオペレーションコストの上昇、人材不足の中で、資源を投入する余力が限られています。つまり、公正取引委員会が示す指針に基づき、業界団体として引き続き声を上げ、ステークホルダーの皆さんと共に改善を急がなければ、自動車整備・車体整備は遅かれ早かれ破綻することになるでしょう。

BSサミットでは国土交通省からの要請に基づき、自動車整備業界の表情に即した形で「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する自主行動計画」を策定し、6月27日に国土交通省へ提出しました。また、「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」については、その内容を見ればBSサミットが主張してきた「作業のエビデンス、アーカイブ、トレーサビリティ」そのもの

電子帳簿保存法対応は、おまかせ!

電帳DXなら、作成した電子帳票が自動登録されるので、スムーズかつ簡単に電子保存することが可能になります。

DX 電帳

電帳DXで業務をまるごと電子化

- ペーパーレスで事務所スッキリ! (保管スペース削減!)
- 検索・閲覧が容易なので書類を探す時間を大幅短縮!
- 書類の郵送にかかる手間・コストを削減!

電子帳簿保存法、未対応の方必見!

導入ユーザーインタビュー動画 株式会社 REFFECT 様 (4分9秒) 視聴はこちら!

車検業務の効率化を支援!

スーパー検査員

スーパー検査員はミスなく、漏れのない記録簿の作成をサポートする指定整備工場様の車検に特化したクラウド型車検・点検支援システムです。

コンプライアンスの強化と業務効率化をサポート

- インストール不要、端末フリー (一部対応の店舗は対応可)
- 法改正、技術進化、監督に対する不安を解消
- OSS電子申請対応 (OSS対応は付加価値と有り)

特定整備制度にも対応
あなたの車検業務がスムーズに!

クラウド型钣金工場業務支援システム

Re-Repair.c

ブロードリーフは新しいクラウドサービスを本格リリースしました。クラウドだからできる拡張性の高いアプリケーションは業務に革新をもたらします。

らくらく導入、かんたん操作。「日常業務の効率化」をサポート!

- 直感操作 (直感的でわかりやすい見た目に操作感)
- 伝票発行 (抜け漏れのない伝票発行作業。印刷・伝票の効率化)
- 商談管理 (在庫状況も自動更新。データ連携の効率化)

事業内容・事業規模にあった商品パックを用意しています!

- 軽钣金のみの钣金工場向け
- メカニック3人以下の钣金工場向け
- 大規模钣金工場向け

政界、官庁関係者、自動車メーカーなど

多くのご来賓がご出席

政界からのご来賓

公明党	国土交通大臣 衆議院議員	斉藤 鉄夫先生
自由民主党	元自由民主党幹事長 元内閣官房長官 自由民主党自動車議員連盟 最高顧問 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 顧問 BSサミット顧問	中川 秀直先生
	元文部科学大臣 元内閣官房副長官 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 会長 衆議院議員	塩谷 立先生
公明党	参議院議長 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 副会長 参議院議員	西田 実仁先生
自由民主党	元内閣府副大臣 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 事務局長 参議院議員	赤池 誠章先生
自由民主党	前文部科学大臣 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 幹事長 衆議院議員	永岡 桂子先生
自由民主党	内閣府副大臣 衆議院議員	井林 辰憲先生



政界からのご来賓



斉藤鉄夫先生

中川秀直先生

塩谷立先生



西田実仁先生



赤池誠章先生



永岡桂子先生



井林辰憲先生

官庁関係のご来賓

国土交通省	物流自動車局 局長	鶴田 浩久様
国土交通省	物流自動車局 次長	久保田 秀暢様
国土交通省	物流自動車局 自動車整備課 整備課長	多田 善隆様
国土交通省	物流自動車局 自動車整備課 整備事業指導官	村井 章展様
国土交通省	物流自動車局 自動車整備課 課長補佐	富岡 孝人様
公正取引委員会	事務総局 経済取引局 取引部 企業取引課 課長	亀井 明紀様
経済産業省 中小企業庁	事業環境部 取引課長	鮫島 大幸様

第一部 全体会議

「BSサミット事業協同組合、協賛会社など多数の組合全国大会」1日目に、増田副理事長による開会宣言、組合員各社、来賓の方々に参加いただき、例年とは、組合員各社、来賓の方々、増田副理事長による開会宣言、組合員各社、来賓の方々、増田副理事長による開会宣言...

今年もBSサミット事業協同組合の全国大会には、大会第一部、懇親会を通して、政界からご来賓の方に多数ご参加頂きました(表)。また、官公庁、自動車メーカー、損害保険会社、ロードサービスアシスタンス会社、協賛会社の皆様にも多くのご出席を賜り、大変華やかな会となりました。

言で幕を開けました。その後、東北ブロック担当齊藤理事の発言により基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、機部理事長による挨拶(一面参照)と続いたのちに、ご来賓の皆様から挨拶を賜りました。

まずは、安全な自動車の車体を確保する議員連盟(以下、議員連盟)顧問、BSサミット顧問の中川秀直先生から「自動車メーカーも自社のディーラー...」と挨拶を頂きました。

工場だけでは対応できなくなってくるからこそ、BSサミットの組織力をもっと強化して、なおかつ質も確保して、適正なビジネスを業界みんなが回しているように、価格もお互いに正当な額を確保しながら、人を確保していく。またその人、経営者を含めて現場に至るまでレベルを上げていく。自動運転も詳しい、コンピュータも分かる、電池のことも分かる、あらゆることに精通している。そういう存在になっていくことを目指して、次のビジネスを確保していく。これが極めて大切なのだと思いをす。ご挨拶を頂きました。

また、公正取引委員会事務総局経済取引局取引部企業取引課の亀井明紀課長より「昨年11月に国会議員の先生方のご指導をいただきまして、労務費の指針というものを発表させていただきました。また、先ほど理事長の方からもご紹介いただきましたけれども、指針をつくって終わりではなく、指針を生かす。この指針が生かされて初めて、適正な取引が実現されると思っております。そういう点で、公正取引委員会も定額観測をしてまいりたいと思っております」と心強いお言葉を頂戴しました。

さらに、議員連盟・副会長、公明党参議院会長の西田実仁先生より「BSサミットでありますから、頂点を目指す。そのためには様々な課題に挑戦をして、そして結果を出していくために、車体整備と分解整備という垣根を、またメーカーとアフターマーケットという垣根を取り払って、まさに人々が移動するというモビリティというところに着目したネットワークを全国に展開していくこととする。その先駆的な取り組みを、私は大変に興味深く、また敬意を表しているところでございます」とBSサミットの新たな指針に対する評価のお言葉を頂きました。

オンライン車検システム

車検業務を一括管理 CS-2100シリーズ

各車検機器をオンラインで繋げることで

▼時間短縮を実現 ▼顧客満足度の向上

車両情報登録

瞬間に自動入力 ※オプション

車検証のQRコード/ICチップを的確に素早く読み取ります。

おすすめオプション

ICカードリーダー

OBD検査に使える

車両点検・検査

検査精度・効率がアップ

オンラインで検査機器を繋げて検査業務の精度と効率をアップ。

可否の自動判定入力

同時に帳票を自動作成

可否判定を瞬時にディスプレイに表示。自動で指定記録簿類が作成されます。

指定整備記録簿・特定整備記録簿

新発売 楽々エーミング

エーミング作業を効率化 iPad専用

RAKU-EB/エーミング作業支援アプリ

ブラインドスポットモニター 対応モデル

画面上にターゲットの設置位置が表示されます

ブラインドスポットモニターのターゲット設置位置が表示されます

※アプリのご使用には「2020年モデル以降 第2世代LIDARスキャナ搭載・iOS15.1以上」のiPad Proをご用意ください

第二部 懇親会



終始和やかな雰囲気懇親を深められました



全国大会 1部・2部を通して多くのご来賓からご挨拶を賜りました (上)公正取引委員会 亀井明紀課長、(下)株式会社オートバックスセブン 小林喜夫氏特別顧問



休憩を挟み行われた第二部・懇親会にも引き続き多数の来賓の皆様にご参加いただき華やかな会として懇親を深めることができました。ご来賓の方々からの挨拶では、国土交通大臣 公明党衆議院 齋藤鉄夫先生から「現在、自動車整備を含む多くの業界において人材確保が課題となつています。申し上げるまでもなく、車体整備業界はわが国のクルマ社会に欠かすことのできない大切な業界です。その発展のためには、今後も優秀な整備士を育成していく必要がございます。そのためには、労務費をはじめとする費用を料金に適切に転嫁し、それを原資として整

備士の処遇改善を進めていくことが必要です。国土交通省といたしましても、関係省庁と連携し、BSサミットの皆様をはじめとする業界の皆様との連携をしっかりと伺い、実態を把握した上で、自動車整備士の処遇改善に取り組んでまいります。これらの取り組みを通じて、自動車整備を含む国土交通分野における安全安心の向上を図るとともに、多様な人材の育成確保を進めてまいります」とありがたいお言葉を頂戴いたしました。

また、内閣府副大臣 自由民主党衆議院議員 井林辰徳先生は「事故車修理の修理代については、多くの皆様から御意見をいただいているところでございます。今、金融庁担当の副大臣をやっております。自動車保険に関わる様々な不正事案がございましたので、これを機に抜本的に見直す、そういう会議を立ち上げ、できれば来年には金融庁として法律を出したい、それぐらいの思いで今、作業を進めさせて頂いている所でございます」と仰って下さいました。

懇親会の途中には議員連盟・事務局長を務める自由民主党参議院議員 赤池誠章先生に駆けつけて頂き「政府全体として、我々自民党の議連も含めて、価格交渉、価格転嫁をして頂きたい」ということで、皆様方の専用情報提供窓口をまずはBSサミットで試行的にはじめて頂いたところでございます」と、ありがたいお言葉を頂きました。

全国各地から組合員が集結、次世代自動車時代に必要な情報を得る場として活用

全国大会二日目は、理事と各支部部長が集う総代会からスタートしました。議長を長野野二支部の気賀澤信之支部長が務め、前期予算報告や当期の予算案について審議が行われました。続いてのプログラムからは全組合員が参加し、組合員拡充委員会長の坂井委員から「BSサミットを最大限活用しよう」というテーマで説明が行われました。

組合員拡充委員会からのお願いと3つのセミナープログラム

組合員拡充委員会 坂井光蔵 委員長



全国大会二日目には3つのセミナープログラムが用意された(左)井上久社会保険労務士・行政書士事務所 井上久代表、(中)株式会社ラブアンドフリー 高橋真樹代表取締役、(右)株式会社ブルーフィンバック チェンジャック代表取締役

坂井委員長は説明の中で「情報の活用」のベルアップの仲間への声掛け、の3つをお願いを組合員に向けて行いました。「情報の活用」において坂井委員長は、BSサミットの最大の強みをネットワークと情報の広さと位置付け、その情報を活かすも殺すも皆さん次第だと檄を飛ばしました。また、「自社のレベルアップ」においては、メーカーもしくはディーラーからの紹介で入庫したお客様に不快な印象を与えない顧客対応力が重要だとし、まずはBS(整

理、整頓、清掃、清潔、美)と挨拶から徹底するべきであると話します。最後となる「仲間への声掛け」においては、サイバーセキュリティについて言及し、苦情受付係3144の多くはお客様の純粋な「不満の表明」であるから真摯に受け止め、その原因を究明し、再発防止に努めるべきだと述べました。

及され、自動車メーカーとの連携なくして次世代自動車の修理は現実的ではないことを、仲間の整備工場にも教えてあげて欲しいと訴えかけました。続くプログラムでは、3つのセミナーが行われました。井上久社会保険労務士・行政書士事務所 井上久代表による「クレイマー・ヘビークレイマー対応 大手損害保険会社苦情受付係3144の証言」では、苦情の多くはお客様の純粋な「不満の表明」であるから真摯に受け止め、その原因を究明し、再発防止に努めるべきだと述べました。

最後のセミナープログラム、株式会社ブルーフィンバック チェンジャック代表取締役による「整備工場・板金工場が使える最大2500万円の補助金活用セミナー」では、整備工場が現在活用できる補助金として、ものづくり補助金と事業再構築補助金について、それぞれ詳細な説明が行われました。申請の出し方についてはレッカーやクレーン、積載なども申請可能であることなど、実践的な情報を学ぶことができました。

BP経営マネジメントシステム
全国販売・保守サポート承ります!!
Cogin7で作成した見積書をベースに『工程管理』、『作業状況管理』、『売上粗利管理』、『担当者別売上管理』が実現します
Emotional Business Enhancer EBE inc. 株式会社 EBE (イーバ)

BSサミットならではの視点で 3つの研修を予定

次世代自動車研究委員会

次世代自動車研究委員会の熊本匡史委員長は、今年度の実施する予定の3つの研修について説明を行いました。

まずは今年度の10月に控えたOBD検査に関する研修について、車体整備においては令和3年10月以降のOBD検査対象車をすでに修理しており、且つ修理時の部品の脱着によってOBD検査不適合の要件である「特定DTC」が発生する可能性があることから、OBD検査(確認)は車検時のみならず、

钣金塗装や一般整備時にも大きく関係してくるものであると説明をされました。さらに、純正診断機と汎用診断機、インフォメーションディスプレイ、そして検査用スキャンツールでは、確認できるDTCに差があることに触れ「自社で修理をした車両の出庫時には、特定DTCは検出されていなかった」というエビデンスを残すためには、目視での警告灯確認や、汎用診断機でのDTC確認だけでなく、検査用スキャンツールを使用したOBD確認を車検時以外の入庫時にも実施することを推奨さ

れました。研修の動画はすでに撮影済みで4本の動画に分けて配信されることが告知されました。

次に、作業環境に関する法令研修について説明が行われました。整備事業に関わる法令は消防法、VOC規制、大気汚染防止法、土壌汚染防止法、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則など、作業環境に関する法令だけでも守らなければならないことが多くあるため、自動車整備、車体整備に必要なことを一通りにまとめた研修を予定していると話されました。熊本委員長は「これらを順守するには、大変な手間とコストがかかりますが、1番メリットがあるのは従業員です。皆様の大切な従業員の健康を守ることにつながります」と、自社の従業員を守るために重要な研修であることを訴求しました。3つ目のネットワークセキュ

リティ研修の説明では「サイバー攻撃の脅威は、大企業だけが対象ではありません。中小企業である我々も常に、サイバー攻撃の標的になっています。基本的な対策をすることで、自社の情報を守ること、ネットワークで繋がっている取引会社様に、損害を与えるようなことが無いよう研修で学び、自社のネットワーク環境の点検、診断をしていただきますようお願いいたします」と、その必要性に言及されました。

発表の締め括りに熊本委員長は、今後ますます修理のエビデンスが重要になることに触れ、同委員会が2020年より推進しているBSエビデンスシステムについて、「万が一のためのエビデンスシステムから、お客様サービスの一環となるシステムへとバージョンアップを行います」と今後の方針を示されました。

次世代自動車研究委員会 熊本匡史委員長(千葉支部/株式会社初石鋳金)



全国大会 委員会報告

顧客から信頼され、 選ばれる組織となるように

- ①顧客とのコミュニケーション
 - 作業内容や費用の見積りを詳細に説明
 - 作業の進捗状況を顧客に知らせる
 - 作業の透明性

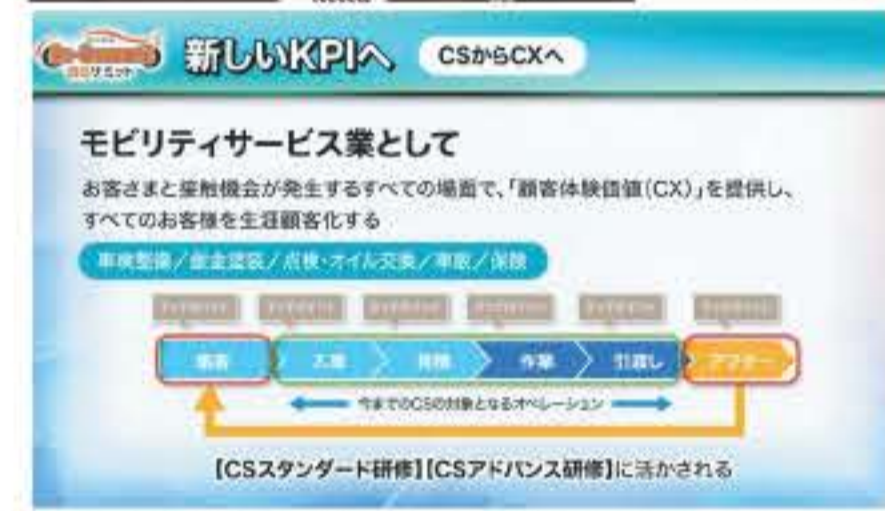
フロント教育委員会の奥谷文輝委員長は、今年度の活動について、集客からアフターフォローまで、お客さまと接点機会が発生するすべての場面において「顧客体験価値(CX)」を提供し、すべてのお客さまを生涯顧客化するための研修を行うことを発表いたしました。

また、今年3月に示された「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」について触れ、「各プロセスにおけるお客さまへの適切な説明と了承。その記録・保存」という点では、車体整備だけに留まらないことになり、プロセス管理シート、などを活用して行い、記録・保存については、BSエビデンスシステムの活用が有効です」と話しました。

奥谷委員長は「フロントは接客対応などの業務に追われがちだが、お客さまから選ばれ、信頼され、透明性があるとはどういうことなのかを考えていかなければならない」と説明され、以下のように目指すべき姿の整理をされました。



フロント教育委員会 奥谷文輝委員長(奈良・和歌山支部/株式会社方ラー・ジュモリ)



- ②顧客とのコミュニケーション
 - 作業内容や費用の見積りを詳細に説明
 - 作業の進捗状況を顧客に知らせる
 - 作業の透明性

最後に奥谷委員長は、「フロント業務はコンプライアンスやお客様の確認・承認など、多忙を極めます。そんな中でもBSサミットは、お客さまに車検や点検などの継続取引をして頂くためにはどうしたらいいのか、お客様の期待を超えるサービスの提供とはどういうことなのか、また、自社はそれを考えて協力し合う企業風土に面的なサービスではなく、働く人のマインドやお客さまを中心とした経営姿勢までも重要視しております。自動車整備業と車体整備業の垣根がなくなった自動車業界において、顧客から信頼され、選ばれる組織となるように引き続き努力していきます」と締め括られました。

③品質保証

- 一定期間の保証を提供する
- 定期的な点検サービスを提供し、車両状態を長期にわたって管理する
- 技術力の向上と証明
- 従業員の技術力を向上させるために定期的な研修
- 資格や認証の取得を積極的に推進し、それを顧客に示す

④オンラインプレゼンスの強化

- WebサイトやSNSを活用して、作業事例や顧客の声を公開する
- アンケートのWeb化
- 法令遵守と倫理的行動
- 法令を遵守し、公正で誠実なビジネスを行う
- 第三者機関の認証を取得し(TUV)、信頼性を高める

- ⑤顧客からのフィードバック収集
 - 作業後に顧客からのフィードバックを収集しサービス改善に役立てる
 - 顧客の声を公開し信頼性を高める
- ⑥オンラインプレゼンスの強化
 - WebサイトやSNSを活用して、作業事例や顧客の声を公開する
 - アンケートのWeb化
 - 法令遵守と倫理的行動
 - 法令を遵守し、公正で誠実なビジネスを行う
 - 第三者機関の認証を取得し(TUV)、信頼性を高める

フロント教育委員会

次代に向けた経営者の決断と実践が重要

今年度新設された教育統合委員会の小林雅彦委員長は、委員会の設置の目的と今年度の活動計画を発表されました。

小林委員長は「来るべき次代へ向けてDMSや新DRPといった新たな制度構築を模索し活動を着実に積み重ねるBSサミットにおいて、これまでに無い取り組みの実施にあたるために設置されたのが教育統合委員会であり、説明をされました。」

小林委員長は「自社が得意とするサービスや商品を強化し、自社の弱い部分は近隣のBSサミット組合員や提携企業等と地域間連携をすることで、自社のサービス品目を削減したとしても、顧客の期待を満足させることが出来ると考えます」と、地域連携の可能性に言及されました。

教育統合委員会では、個人で参ります」と発表を締め括りました。



教育統合委員会

教育統合委員会 小林雅彦委員長(静岡支部/株式会社カマド)

スポット溶接機

- 超高張力鋼板対応
- 完全水冷
- NEOスマート溶接プログラム搭載

MODEL SW-AZ105

スタッド溶接機

- 薄板鋼板で裏掛けしにくい
- 厚板鋼板を強力に溶着
- 可変パルスモード搭載

MODEL SW-5300F

樹脂溶接機

- エアのみで使用可能(窒素ガス不要)
- 新開発溶接ストリップで簡単溶接
- BMW/TOYOTA(EU)車体補修プログラムに採用

MODEL PWA-10452

次代へ向けて経営者の決断と実践

- 所在地・業態によって優先順位が変わる
- 勝負する領域は自社で決める
- BSサミットが提供する情報や教育を活用する
- 魅力的な工場はお客さまと提携企業に選ばれる

小林委員長は「自社が得意とするサービスや商品を強化し、自社の弱い部分は近隣のBSサミット組合員や提携企業等と地域間連携をすることで、自社のサービス品目を削減したとしても、顧客の期待を満足させることが出来ると考えます」と、地域連携の可能性に言及されました。

教育統合委員会では、個人で参ります」と発表を締め括りました。



LMG活動報告

福岡

次代に向けて着実に準備を進める2企業を視察

2024年6月13日(木) 14日(金)の二日間、福岡県にて二世会から名称変更したリーディング・マネージャーズ・グループ(LMG)の勉強会が開催されました。

最初に訪れたのは朝日自動車株式会社(福岡支部)の新車販売拠点「新車館(イオンモール福岡店)」で、こちらの拠点では先般発表された株式会社オートバックスセブンの車買取・販売事業「オートバックスカーズ」をグループ外に広げる展開の実証実験が行われています。

純正診断機の重要性について、明が行われました。しかし、具体的な事例を挙げて説明し、一方、いち整備工場が純正診断機を揃えてもコストが掛かりすぎて収益には繋がらないことも告げられ、地域での連携が重要であることを強調されました。



(上)株式会社ランテルの上村社長から整備や部品について情報提供をいただいた、(下)自社の取り組みについて説明を行う藤野副理事長

研修二日目は、朝日自動車株式会社(福岡支部)の本社を訪問し、同社社長でありBSサミットの副理事長も務める藤野利浩社長に、同社の「EVに関する取り組み」、経営幹部育成、事業展開に関する判断、タイミング、組織づくりについてお話し頂きました。また各部門(車販、整備、钣金塗装、ロードサービス)の取り組み事例について、各部門の担当者からお話し頂きました。

次に会場を株式会社ランテル 福岡営業所(福岡県太宰府市)に移し、同社の工場視察と上村正明社長による情報提供が行われました。同社は福岡県に3拠点

を構える地域部品商であり、地域の整備工場に対してエミシングやフィルム施工などのサービスも提供しています。最近では少しづつではありますが地域部品商が整備工場に対してサービスを提供するケースが増えてきていますが、その先駆けとも言えるのが同社であり、今回視察を行なった福岡営業所はポッシュカーサービスの看板を掲げ、整備工場では設備や人的な問題で行ないづらいサービスを提供しています。特にエミシングに関しては、トヨタホンダ、日産、マツダ、ダイハツの純正診断機が揃っており、汎用診断機ではサポートされていない作業も行える環境が整っています。情報提供では、自動車整備・修理を行う上での

7月9日(火)、全国大会の二日目プログラム終了後に、会場を移してLMGセミナーが開催されました。セミナーの第一部では、株式会社ブロードリーフ 営業本部クラウド戦略推進グループリーダーの鈴木有輔氏から「次世代モビリティとDX」というテーマで講演頂きました。セミナーでは、カーアフターマーケットの近未来について2035年までを目安とした際の気になるキーワードについて説明が行われました。

「OBDDに関する研修」を配信開始 次世代自動車研究委員会の熊本匡史委員長は、今年10月1日に迫るOBDD検査に対して指定工場だけでなく認証工場である「次世代モビリティ・生成AI」自動車業界への影響とは?と題した発表が行われました。山本氏は発表を通じ「世界や日本の自動車業界の時流から、将来に向けて各社が自社の進捗を決め

なければいけない時期に差し掛かっていること、次世代モビリティに対応するためには生成AIについて理解することが重要である」ということを訴求されました。

講師を務めた上松社長は研修の中で「钣金塗装において出庫時に汎用スキャンツールでエラーコードを消去したとしても、汎用スキャンツールでは全ての車両の全てのシステムにアクセスできるわけではない為、アクセス権の無い部分に特定DTCが残ることもありえます」と説明を行いました。一方で「特定DTCは車検に際してDTCであり、修理時にDTCが残っていること自体は法的には問題ありません。しかし、次の車検時に修理時に残したままにしていた特定DTCが発覚した場合、作業に対する不信感を抱かれる恐れがあります」と、ルールと倫理の差について言及されました。

BSサミットの次世代自動車研究委員会では、今後ますます進化が予想される次世代自動車の修理・整備に対応していくために、今後も現場に即した研修を企画・運営し、組合員工場のレベル向上に寄与してまいります。



全国大会二日目終了後に勉強会を開催



(左)講演を行う株式会社ブロードリーフ 鈴木有輔氏、(右)愛知支部・旭自動車株式会社 山本卓矢氏による発表

セミナー第二部では、LMG会員で愛知支部・旭自動車株式会社の山本卓矢氏による「次世代モビリティ・生成AI」自動車業界への影響とは?と題した発表が行われました。山本氏は発表を通じ「世界や日本の自動車業界の時流から、将来に向けて各社が自社の進捗を決め



愛知支部/みつまる自動車株式会社 間瀬浩正代表取締役



講師を務めた上松社長は研修の中で「钣金塗装において出庫時に汎用スキャンツールでエラーコードを消去したとしても、汎用スキャンツールでは全ての車両の全てのシステムにアクセスできるわけではない為、アクセス権の無い部分に特定DTCが残ることもありえます」と説明を行いました。一方で「特定DTCは車検に際してDTCであり、修理時にDTCが残っていること自体は法的には問題ありません。しかし、次の車検時に修理時に残したままにしていた特定DTCが発覚した場合、作業に対する不信感を抱かれる恐れがあります」と、ルールと倫理の差について言及されました。

BSサミットの次世代自動車研究委員会では、今後ますます進化が予想される次世代自動車の修理・整備に対応していくために、今後も現場に即した研修を企画・運営し、組合員工場のレベル向上に寄与してまいります。

BSサミットの次世代自動車研究委員会では、今後ますます進化が予想される次世代自動車の修理・整備に対応していくために、今後も現場に即した研修を企画・運営し、組合員工場のレベル向上に寄与してまいります。

全国の販売促進員がオンライン形式で多数参加 9社の協賛会社様によるプレゼンテーションを実施

販売促進委員会は、6月14日(金)に「販売促進委員会 全国オンラインミーティング」を初開催されました。全国から40名の支部販売促進員および代理担当者が参加する中、9社の協賛企業様よりプレゼンテーションが行われました。

会議の冒頭、松村販売促進委員長から挨拶があり「以前は全国大会二日目の午後に、全国販売促進委員会を行っていましたが、コロナ禍の影響や予算の都合で開催できませんでした。今回は初めてオンライン形式で協賛会社様にプレゼンテーションを行って頂きます。ぜひ会議後に協賛会社様に質問して情報収集や導入を検討して下さい」と述べられました。

各社のプレゼンテーション終了後、松村販売促進委員長は「初めて協賛会社様の商品説明を聞かれた方もいらっしゃると思います。時間の関係で質疑応答ができなかったため配布済みの協賛会社一覧表にある各社ご担当社様に積極的に質問し、活発な情報交換を行って下さい」とお願いされました。

販売促進委員会 活動報告



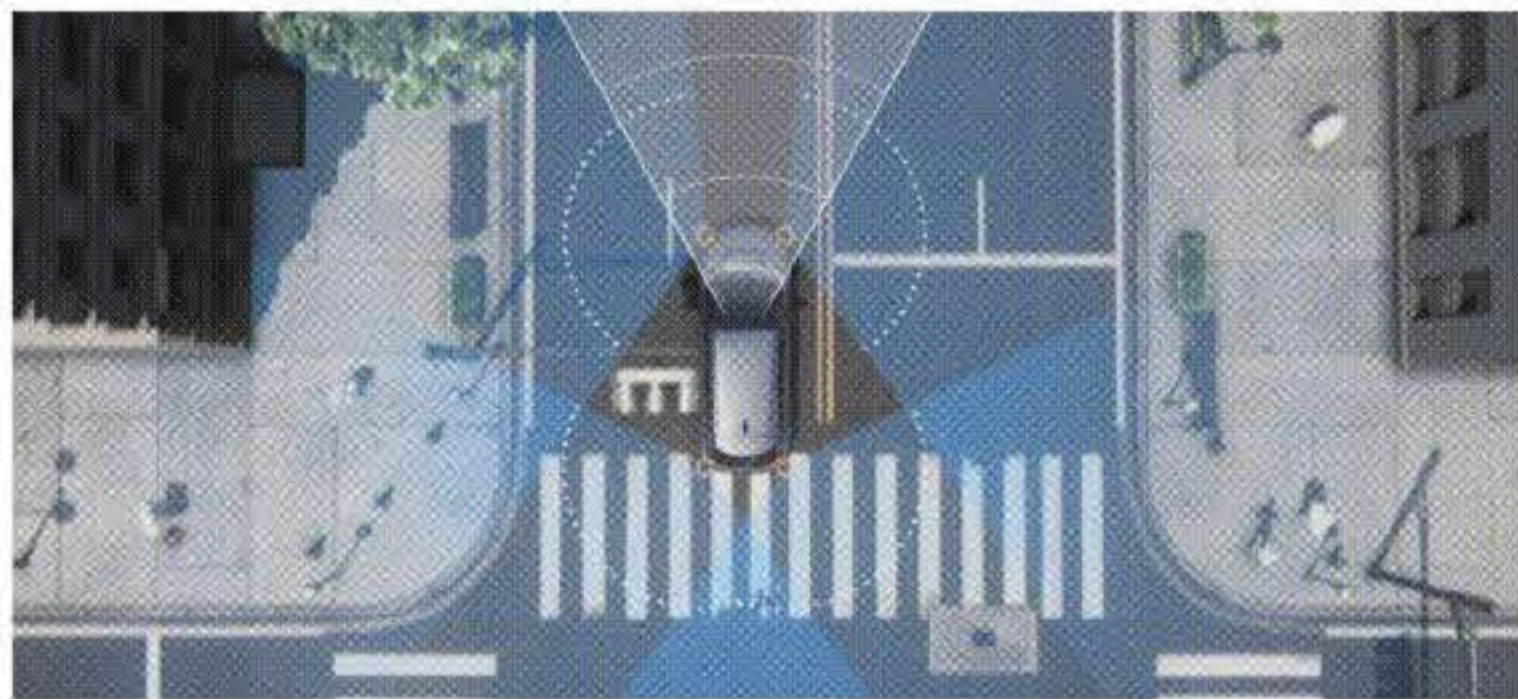
トヨタ自動車株式会社「メカコミ」のプレゼンテーションでは、BSサミット組合員向けの特典も案内された(下)右から、松村販売促進委員長、東日本担当の五十嵐正氏、西日本担当の中神敏光氏、BSサミット本部事務局中田真由美氏



よるEV充電器の導入提案が挙げられました。2024年度の活動計画は、主に4つの取り組み(①钣金塗装に特化した方向性からモビリティサービスに対応 ②組合員への提供価値と組織収益の向上 ③リサイクルパーツの拡販推進 ④協賛会社の拡充と商品の拡販促進)に注力することが説明されました。このほか、販売促進委員会の会議は、今回のオンラインミーティングを含めて年7回予定されており、法改正に対応した設備・工具の導入やDMSの推進について、全国の販売促進員に協力を呼びかけました。

前側方レーダーの普及と77GHz レーダー

ブラインドスポットモニター(BSM)は、リヤ側後側方の死角を検知し、車線変更時の後方確認支援などを行う機能として搭載が進んでいますが、近年は前側方レーダーを搭載するクルマが増加しています。前号で掲載した「Honda SENSING 360」をはじめ、スバルの「EyeSight (アイサイト)」、そしてトヨタの「Toyota Safety Sense」の各最新バージョンで前側方レーダーが設定されるようになりました。いずれも前側方から接近する移動物を監視して注意喚起するシステムです。見通しの悪い交差点や駐車場からの出庫時などにおいて、接近する車両を検知することで、より安全性を高める機能として搭載が進んでいます。また、前側方レーダーに用いられる周波数は77GHz (ギガヘルツ) 帯です。BSMは主に24GHzの周波数が用いられてきましたが、前側方レーダーに77GHzが利用されることで、BSMにも77GHzが用いられつつあります。センサーの周波数帯によって行う整備の方法が異なるため注意が必要です。



360度のセンシングを実現する最新のアイサイトには前後に側方レーダーが搭載されています。出典：株式会社スバル

車体整備のルールと制約求められる厳格な対応

の77GHz帯のミリ波レーダーについては、その性質上、整備や車体整備において、様々な制約が課されています。リヤ側のBSMも含めて77GHz帯のセンサーは整備要領書に沿った正しい知識と整備方法が求められます。

また、側方レーダーについては、自動車メーカーごとに取り付け場所が異なります。例えば、トヨタ、ホンダの前側方レーダーは車両のボディ側に付いていますが、スバルの場合はバンパー側に取り付けられているため、点検や整備、各種設定の方法などが異なります。車体整備を実施する前に必ず整備要領書・ボデー修理書を読み、適切な作業を実施する必要があります。もし、適正な車体整備が実施されなかった場合、機能が正常に作動しないなどの不具合が生じる可能性があります。実施する付帯作業が多いため、プロセスに沿った作業が求められます。



スバル「レヴォーグ レイバック」。前側方レーダーを搭載したアイサイトへの置き換わりが進んでいます。出典：株式会社スバル

バンパー補修 電波照射範囲内の禁止事項

77GHz帯が用いられた側方レーダー搭載車のバンパー補修に関しては自動車メーカーによって対応が異なります。トヨタの場合、側方レーダーの電波が照射されるバンパーのエリア(電波照射範囲)では樹脂修理、パテ埋め修理(プラサフや塗料で埋まる程度の傷は塗装修理可能)、バンパー裏側への塗装、塗装の境界(色決めやボカシの境界)を設けた塗装作業、そして旧塗膜への重ね塗りは禁止です。ホンダの場合も概ね、トヨタと同様で電波照射範囲内での重ね塗り、ボカシは禁止であり、再塗装する場合は旧ベースコートを研磨し除去してから行います。塗料については、77GHz帯のレーダーに対応する塗料と調色、そして塗料メーカーが指示している通常塗装回数を逸脱して作業しないよう禁止事項が設けられています。カラーバンパーであれば、そのまま交換で対応できますが、未塗装樹脂バンパーの場合は、塗料メーカーが発行するバンパー修理マニュアルおよび塗料配合情報を確認して修理を行う必要があります。

他方、スバルのアイサイトのバンパーには修理禁止エリアが設けられており、補修や塗装は一切禁じられています。

軽 衝突や钣金修理の後など、前側方レーダーの取り付け角度が変わった可能性がある場合はセンサーの角度確認

「Honda SENSING 360」の場合は前号に掲載した三次元角度測定を行います。トヨタの場合は水平軸ずれ確認、垂直搭載角確認をそれぞれ実施します。角度が基準値内であれば問題ありません。

一方、スバルの場合、バンパー補修、またはバンパー交換の実施後に角度測定が必要となります。センサーがバンパー内側に取り付けられているため、バンパーの所定エリアに角度計をあて、角度測定を実施します。

自動車メーカー別の前側方レーダ点検方法(角度測定)

トヨタ	前側方レーダー取り付け状態確認 (水平軸ずれ確認・垂直搭載角確認)
スバル	フロントバンパー側の角度測定
ホンダ	三次元取り付け角度の測定 (水平軸角・ヴァーティカル角・ローテーション角)

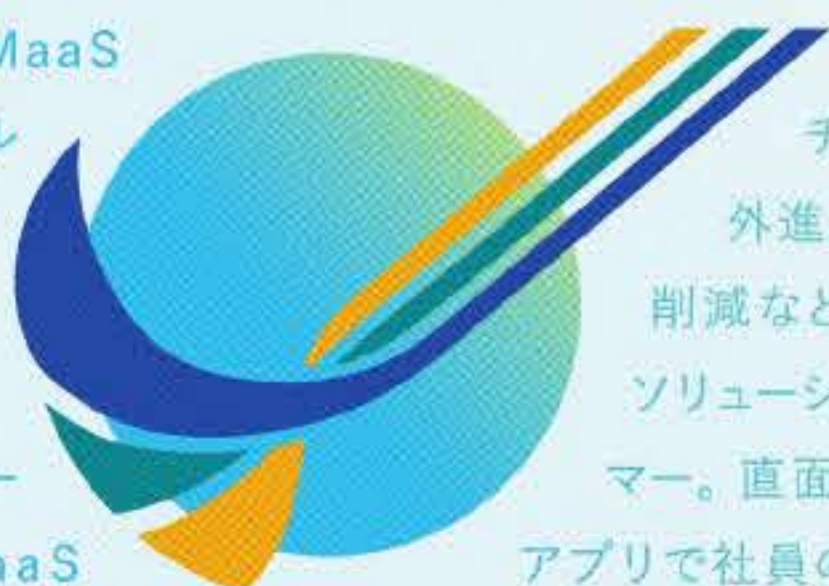
レーダー軸調整と 反射強度点検(透過度測定)

バンパー補修を実施した後、またはバンパー交換を行った後は、レーダー軸の調整、そしてレーダーの電波が適切に照射(透過)できているかを確認する反射強度点検(ホンダは透過度測定)を行います。もし適切な電流量が照射(透過)できていない場合、ブレーキ支援機能は正常に作動しないため、必ず測定を行い、レーダーの照射量を確認する必要があります。軸調整、反射強度点検(透過度測定)ともに三角リフレクターを用いて作業を実施します。整備要領書・ボデー修理書に従い、適切な作業を実施してください。

SMAS 移動革命

次世代モビリティの最適解で、ビジネスを加速、拡大する。

エスマスはサステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム。直面するサステナビリティの課題をEVワンストップサービスで解決。MaaSアプリで社員の移動をまるごと管理。クルマの手配、出張、アルコールリサポート。グローバルサービスで海外進出もおまかせ。モビリティ業務削減など、あらゆるビジネス課題を解決。ソリューションを。エスマスはサステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム。直面するサステナビリティの課題をEVワンストップサービスで解決。MaaSアプリで社員の移動をまるごと管理。クルマの手配、出張、アルコールチェックなど便利と安全をしっかりサポート。グローバルサービスで海外進出もおまかせ。



できます。できます。SMASで、できます。

東京営業第一部
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
東京オペラシティビル
TEL: 03-5302-9893



月別リサイクルパーツ別実績 2024年5月～2024年6月(全国)

BSサミット 販売促進委員会

リサイクルパーツ普及拡大に向けて

自動車リサイクル部品業界市場規模アンケートの調査結果から現況を見る

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお祈いします。

一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会(佐藤幸雄代表理事、加盟12団体)は、令和6年5月に第10回リサイクル部品のリ協会員社市場規模調査を実施し、その結果を7月17日に発表しました。リサイクル部品(リユース・リビルド)の総売り上げ金額は前年対比90.7%と縮小の傾向が見られ

ます。特に、輸出売上が前年対比103.5%に対して、国内売上は90.0%と円安の影響を感じます。リサイクル部品の普及には、リサイクル事業者の頑張りだけでなく、我々整備事業者の声掛けが非常に重要になります。組合員工場の皆様には引き続きの訴求活動をお願い致します。

※その他はエンジン・ミッション・ラジエター・コンデenser・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイクルパーツ(新品パーツは除く)

Table with 4 columns: 内訳, 2024年 (5月, 6月), 合計. Rows include フロントバンパー, リヤバンパー, ヘッドライト, etc.

ストップ! 粗悪修理!!

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

不完全修理例① 軽損傷で入庫した車両に2か所の不完全修理!

軽損傷で入庫した車両だが、2か所の不完全修理の事例。ひとつはフロントサスペンションのスタビライザー部分が、本来ボルトで固定するべきところを、ボルト穴の位置が合わなかったためか、溶接で固定している。もうひとつは、今回の軽損傷とは別の事故だと推測するが、サイドメンバーが屈曲したままで外装のみを修理して車体の骨格部分の寸法はずれたまま車両を使用していたと思われる。



この様な不具合車両をなくすために、皆様からの情報提供をお待ちしております。

不完全修理例② ヘッドライトをボルトで固定できずに、針金で取り繕っていた!

フロント損傷で入庫。エンジンルームを確認すると、ヘッドライトの取り付け位置が合わなかったのか、そのままボルト固定できずに、針金で取り繕ってある状態のままであった。そのほかにも、骨格部位のいたるところで修理していない部分や修理していても溶接がはがれていたりする危険な状態であった。



NGP 車のキユラーエコノミー キャンペーン. Advertisement for a campaign where users can win prizes by recycling old cars or parts. Includes details about prizes like Amazon or JCB gift certificates and the campaign period from 7/1 to 8/31.

Repairs Direct System (RDS). Advertisement for a parts direct system for recycled car parts. Features a large recycling symbol and text about supporting the CS (Circular Supply) system.

SDGs宣言 and 2030年目標. A section discussing environmental goals and the role of recycled car parts in achieving them.

BSネットワークコールセンター. Contact information for the BS Network Call Center, including phone and fax numbers, and a QR code for more information.

本社外観



“やさしさ”を最大の強みに



黒田誉喜社長、店舗入り口付近に自作したフォトスポットにて

組合員訪問 緊急時にも安心して働ける環境を構築

昭和21年創業、地域密着の自動車整備事業者

今回の組合員訪問は三重県四日市市の株式会社黒田モーター商会です。

同社のある四日市市は三重県北部に位置し、県内一番人口の多い街です。また、石油化学コンビナートや内陸部に世界最先端の半導体メモリ製造工場など、様々な産業が集まる「産業都市」として知られています。

BSサミット加入のきっかけ

整備事業者として成長を遂げてきた同社ですが、DRP全盛の頃に先代社長が全日本ロータス同友会の繋がりで交流のあった三重支部・株式会社

钣金工場外観



事業として成長したロードサービスと钣金塗装

突出したお客様対応

黒田モーター商会は、独自のユニークなサービスでお客様を驚かせる工夫をしています。その一つが「クロダ★クラブメンバーズ」というラフメンバーズです。次回特典の他、5分間クイズを

1	24時間ロードサービス	特典89円
2	6ヶ月間の点検	無料
3	11大特典	50%OFF
4	タイヤ交換	3%OFF
5	ボディキズ修理	20%OFF
6	ボディキズ入替	10%OFF
7	ボディキズ入替	10%OFF
8	ボディキズ入替	10%OFF
9	ボディキズ入替	10%OFF
10	ボディキズ入替	10%OFF
11	ボディキズ入替	10%OFF
12	ボディキズ入替	10%OFF
13	ボディキズ入替	10%OFF
14	ボディキズ入替	10%OFF
15	ボディキズ入替	10%OFF
16	ボディキズ入替	10%OFF
17	ボディキズ入替	10%OFF
18	ボディキズ入替	10%OFF
19	ボディキズ入替	10%OFF
20	ボディキズ入替	10%OFF
21	ボディキズ入替	10%OFF
22	ボディキズ入替	10%OFF
23	ボディキズ入替	10%OFF
24	ボディキズ入替	10%OFF
25	ボディキズ入替	10%OFF
26	ボディキズ入替	10%OFF
27	ボディキズ入替	10%OFF
28	ボディキズ入替	10%OFF
29	ボディキズ入替	10%OFF
30	ボディキズ入替	10%OFF
31	ボディキズ入替	10%OFF
32	ボディキズ入替	10%OFF
33	ボディキズ入替	10%OFF
34	ボディキズ入替	10%OFF
35	ボディキズ入替	10%OFF
36	ボディキズ入替	10%OFF
37	ボディキズ入替	10%OFF
38	ボディキズ入替	10%OFF
39	ボディキズ入替	10%OFF
40	ボディキズ入替	10%OFF
41	ボディキズ入替	10%OFF
42	ボディキズ入替	10%OFF
43	ボディキズ入替	10%OFF
44	ボディキズ入替	10%OFF
45	ボディキズ入替	10%OFF
46	ボディキズ入替	10%OFF
47	ボディキズ入替	10%OFF
48	ボディキズ入替	10%OFF
49	ボディキズ入替	10%OFF
50	ボディキズ入替	10%OFF
51	ボディキズ入替	10%OFF
52	ボディキズ入替	10%OFF
53	ボディキズ入替	10%OFF
54	ボディキズ入替	10%OFF
55	ボディキズ入替	10%OFF
56	ボディキズ入替	10%OFF
57	ボディキズ入替	10%OFF
58	ボディキズ入替	10%OFF
59	ボディキズ入替	10%OFF
60	ボディキズ入替	10%OFF
61	ボディキズ入替	10%OFF
62	ボディキズ入替	10%OFF
63	ボディキズ入替	10%OFF
64	ボディキズ入替	10%OFF
65	ボディキズ入替	10%OFF
66	ボディキズ入替	10%OFF
67	ボディキズ入替	10%OFF
68	ボディキズ入替	10%OFF
69	ボディキズ入替	10%OFF
70	ボディキズ入替	10%OFF
71	ボディキズ入替	10%OFF
72	ボディキズ入替	10%OFF
73	ボディキズ入替	10%OFF
74	ボディキズ入替	10%OFF
75	ボディキズ入替	10%OFF
76	ボディキズ入替	10%OFF
77	ボディキズ入替	10%OFF
78	ボディキズ入替	10%OFF
79	ボディキズ入替	10%OFF
80	ボディキズ入替	10%OFF
81	ボディキズ入替	10%OFF
82	ボディキズ入替	10%OFF
83	ボディキズ入替	10%OFF
84	ボディキズ入替	10%OFF
85	ボディキズ入替	10%OFF
86	ボディキズ入替	10%OFF
87	ボディキズ入替	10%OFF
88	ボディキズ入替	10%OFF
89	ボディキズ入替	10%OFF
90	ボディキズ入替	10%OFF
91	ボディキズ入替	10%OFF
92	ボディキズ入替	10%OFF
93	ボディキズ入替	10%OFF
94	ボディキズ入替	10%OFF
95	ボディキズ入替	10%OFF
96	ボディキズ入替	10%OFF
97	ボディキズ入替	10%OFF
98	ボディキズ入替	10%OFF
99	ボディキズ入替	10%OFF
100	ボディキズ入替	10%OFF

クロダ★クラブメンバーズ100個の特典



根幹にあるのは 社は「やさしく」

黒田モーター商会は、「お客様は何かあった時、日刊自動車新聞社が2022年に新設した「整備事業者アワード」の第1回目に、社会貢献領域・BCP対策部門賞を受賞しています。同社では、独自のBCP(事業継続計画)で顧客と社員を繋ぎ、顧客対応も続けられる体制を整えています。その中でも、緊急時にも安心して働ける環境を構築しており、それが評価され受賞されています。黒田社長は「自社のBCP対策について説明してくれたい」と述べ、BCP対策を有るに備えるためのコストと考えるのではなく、自社のBCP対策を顧客へアピールすることで、何かあった安心な会社」という信頼に繋がっていくことが重要だと話しています。

自動車の進化に伴う様々な法改正

自動車業界 100年に一度の大改革期の真只中にあり、政府主導で自動運転技術や運転支援技術の普及を目的とした様々な法改正が続いています。そして今年2024年はいよいよ、特定整備の経過措置期間が終了し、OBD車検の運用が開始され、モビリティサービス事業者にも求められるハードルは益々上がります。BSサミットは、モビリティサービスのリーディング組織として、時代の潮流を泳ぎ様々な難局を乗り越えるべく、常に先を見据えた取り組みを行ってまいります。

2018	4月 登録車OSS利用開始
2019	5月 軽OSS利用開始
2020	4月 改正道路運送車両法施行 電子制御装置整備認定開始 特定整備の経過措置の開始
2021	4月 特定化学物質障害予防規則等改正 10月 新点検基準施行 11月 国産車自動ブレーキ義務化 OBD車検プレテスト開始
2022	4月 溶接ヒューム濃度測定等 5月 後退時車両直後後部認識装置 新型車装着義務化
2023	1月 検査証の電子化 10月 インボイス制度開始
2024	3月 特定整備の経過措置期間の終了 7月 輸入車自動ブレーキ義務化 10月 OBD車検 運用開始
2025	10月 輸入車のOBD車検 開始 (2022年10月1日以降の新型車が対象)
2027	9月 軽トラック 自動ブレーキ義務化

日本のモビリティサービスのリーディング組織 BSサミット

革命はここから始まる!

100年に一度の大改革期をともに勝ち抜いていく志高きメンバーを募集しています。

BSサミット事業協同組合
TEL:03-3538-2900 E-mail: honbu@bs-summit.co.jp
http://www.bs-summit.jp